

郵政特准掛號



軍事機密

月三四日南西諸島空襲詳報



150911

15645



RS 95396

Cincpac-Cincpoa

B-26474

OKINAWA 24 JULY

23967

昭和三十年一月
第三三三司令部

To:

一月三四日敵機空襲概要

一月三日

北飛行場 一七

戰果

中 六

雲隊三

小隊 一八

計五六機

雲破二

宮古石垣 一五

二名捕獲

(二名ハ近海漂着中ヲ四日捕獲ス)

損害

人員死者ナシ 戦傷九名

ガソリン・トラム缶 三三個炎上

飛行機 一機被弾ニ染(小破)

馬匹 一頭死亡

一月四日

北飛行場 一二

戰果

中 六

雲隊三(不詳)

小隊 九

計四六機

十名捕獲

那覇港 三

宮古石垣 一五

損害

人員 戦死八、戦傷二名

其、他ナシ

三日未詳不總計機數 一〇二機

戰果 雲隊上 六機

俘虜 二名

他方損害

死者 二名 負傷 四七名

行方不明 二名 五〇七機帆船一沈没

目次

- 一、敵機來襲前之狀況(之其各部隊之配置)
- 二、天候氣象等、概要
- 三、敵機來襲狀況、我力激戰戰鬥狀況
- 1. 沖繩本島地區
- 2. 大東島地區
- 3. 奄美大島地區
- 4. 德之島地區
- 5. 宮古島地區
- 6. 石垣島地區
- 四、敵機種類裝備及攻襲法
- 五、敵潛水艦狀況
- 六、戰果
- 七、我力射耗彈

八我カ方ノ損害
九地方官民関係事項
戦訓

一敵機来襲状況

一軍ハ左記諸情報ヲ綜合シ南西諸島
方面ニ敵機空襲ノ算アルヲ考慮シ
十二月三十一日赫下部隊ニ対シ之ニ即
應スルノ能ハシキニ移行セシム

左記

十二月二十九日四〇〇敵機動部隊卜判

断セラル、艦船ニ二五度五二九度ヲ
北西ニ向ヒ移動中ナルモノ、如シ

(2) 大宮島基地哨戒機「B29」、南西諸島
方面ニ対スル偵察頻繁ニシテ十二月
下旬以降、來龍衣頃ニ活潑化シアリ

敵機來龍衣狀況附表第一、如シ

(3) 十二月下旬以降南西諸島台湾近海ニ

敵潜水艦、出現執拗ニシテ「B29」、偵察

ト関連シ南方補給路、遮断補給

機、攻襲ニ大ナル観心ヲ有シアルモノ、

如シ

2. 各部隊ノ狀況

(1) 電波警戒隊

電波警戒隊、十二月下旬以降敵機ノ

來龍衣頻警戒ナル狀況ニ鑑ミ敵ノ攻襲ニ
備ヘ警戒警戒機ノ調整ニ努力シ銳意警戒
戒シ嚴シシ各離島ト本部ト直接無
線交信本島内ノ有線通信ヲ完備シ
警戒戒ニ力遣感テキリ期シアリタリ
敵機未能襲前後ノ運轉狀況左ノ如シ
首里 運轉中
讀谷山 日
大東島 日

奄美大島 日
宮古島 一機運轉一機ハ空中線打墮ノ
為運轉中止シアリ

山高射部隊

台湾ニ敵艦載機空龍衣中トノ通報ニ接シ
タルヲ以テ対空警戒ヲ嚴シシロ九ニセエヨリ
戰備下令ト共ニ直々ニ戰車配備ニ移リ
激雲戰備ヲ救正フ

中継本島内高射部隊の配置村長第

千如

3. 航空関係部隊

十月十日空襲を教訓に基き十二月以降屢次二百

(飛行場)

敵B29偵察艇に次期空襲を予想し飛行機

燃料彈薬等^(注)の合計偽装掩護施設^(注)の強化に勉

め、銃煙雲^(注)に対し防空^(注)の企圖^(注)を断り

四. 船舶関係部隊

那西刺港内ニ出港待機中、本船及機帆船

漁船ハ防空掩護圈内ニアルヲ以テ退避セシムル

コトナリ陸上及煙霧ヲ使用シ埠頭ニ碇泊シテ

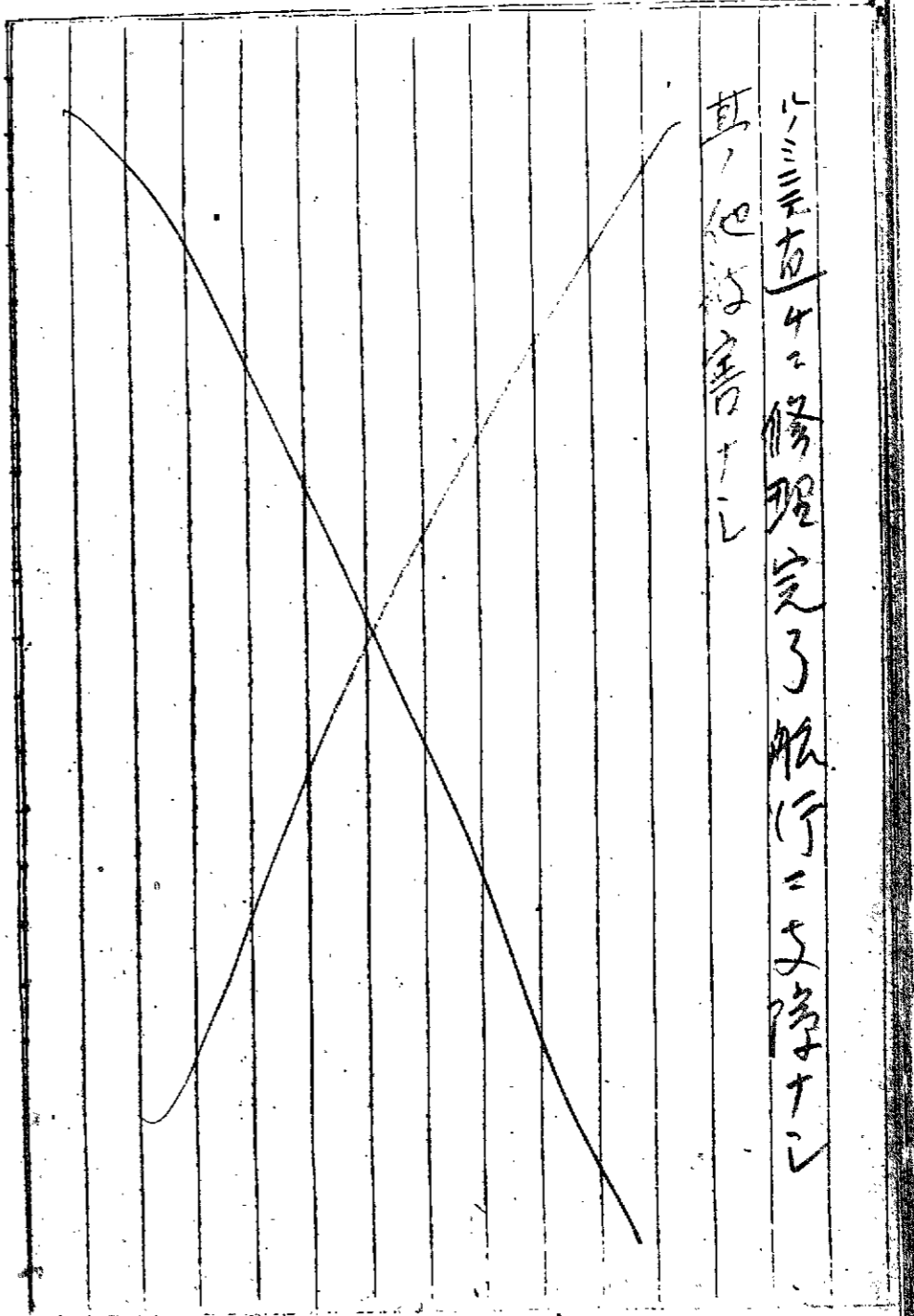
タリ

(三隻)

四日〇九三〇SB〇五航那西刺入港時敵機

銃雲ニ依リ船腹ニ若干ノ被弾アリ

ハミテ直ぐニ修理完了航行ニ支障ナシ
其ノ他隊亦同ナリ



5. 第三十四第六十二師團及獨立混成第四十
四旅團各、隸下部隊ニ乙号戰備ヲ下令
スルト共ニ所屬高射砲隊ヲシテ戰鬥力
勢ニ移ラシメ且一部ヲ防空戰鬥配備ニ
主カテ整成配備ニ就カシメ爾余ノ部隊
ハ十月十日、空襲衣ノ教訓ニ鑑ミ軍需品
等ノ掩護地區ニ實施ス

6 大東守備隊奄美守備隊先島集団

軍乙号戦備下令受領後連力の該隊備

ニ移リ所在海軍特ニ対空部隊ト密ニ協

力スルト共ニ対空対海上警戒ヲ嚴ニシ激雲

能心勢ヲ整正シ

二 天候氣象等ノ概要左ノ如シ

〇一月三日

1. 沖繩本島地区

午前 晴 雲量二 雲高一〇〇米 東風二米

午後 〇 雲量六 〇 南東凡七米

2. 先島地区

午前 高曇 雲量一〇 雲高一〇〇米 東風二米

午後 〇 〇 〇 〇 南東九米

3. 奄美地区

二 大東地区

午前 不明

午後 曇 雲量一〇 雲高七〇米 東北東三米

日中 〇 〇 〇 〇

月出 二三一一
 月没 一〇三七
 高潮 二〇五〇
 低潮 一〇四一〇

二月四日

一 沖繩本島地区

午前 小雨 雲量一〇 雲高四〇〇 北東 九米
 午後

二 先島地区

午前 小雨 雲量一〇 雲高五〇〇 北東 五米
 午後

三 奄美地区

午前 曇 雲量一〇 雲高九〇〇 北東 五米
 午後

二 大東地区

午前 小雨 雲量一〇 雲高六〇〇 北東 五米
 午後

木日(月)出日(月)没 潮汐(那霸)

日出 〇七一一七 日没 一七五一

月出 二三〇二 月没 一一一三

高潮 二二五〇 低潮 一〇四二五

三 敵機來襲狀況 我機雲戰斗狀況 (附表三参照)

一 沖繩本島地区

二月三日

〇八四〇一B29 二機本島東方ヨリ中飛行場

上空ニ侵入要地偵察ト敵艦載機ノ誘導ヲ
ニ任シアリタルモノ、如ク那覇上空ヲ旋回
シタル後東方ニ脱去ス 高度九〇〇米
高射砲ヲ以テ射撃セシモ戦果ナシ
軍ハ敵機 空襲計算大ナルト台湾地区敵
艦載機来襲中ト、情報ニ接シ〇九二七
南西諸島全地区ニ対シ空襲警告報ヲ

発令ス 〇九三五 沖縄本島ニ来襲セル敵
艦載機約五〇機ハ小浜中北各飛行場
ニ来襲シ銃撃シタル後〇九四〇東南方ニ
離脱ス
待機シアリタル高射部隊ハ直ぐニ射撃ヲ
開始シ爾余ノ部隊ハ空襲警告報發令
ト同時ニ乙子戦備ノ態勢ニ移リ敵機

態観カヲ整フ

一二〇五敵機、空襲衣算十ヲ以テ空襲衣整

報ヲ解除ス

一月四日

一九三〇電波警戒機(廣谷山)那覇起矣

一四〇度五〇科ニ不明機ヲ捕捉シタルヲ以テ

機ヲ失セズ各部隊ニ通報ス一九五五敵艦

載機約十七機沖繩本島北部ニ進入スト

ノ報告ニ依リ同時本島地区ニ対シ空襲衣

警報ヲ發令一〇〇五小隊中北各飛行

場那覇港ニ約三〇機折カラノ小雨ヲ利

用シ超低空ヲ以テ來龍衣銃雲シタル後

一〇一三離脱ス

本四日ノ未發敵機ハ超低空ニテ侵入本島

ヲ去ル五〇科附近ヨリ北上警戒機ノ弱占大
タル北東方向ヨリ超低空ヲ以テ飛行場ニ
進入セシモノ如シ

待機中、高射部隊ニ直々射撃ヲ開始ス

一四〇〇空襲警戒報ヲ解除ス

以未襲撃機ノ航跡ヲ附表第三乃至第六ノ

如シ
中隊機ノ攻撃地域ヲ附表第八ノ如シ

2. 大東島地区

空襲警戒報下令受領後直々ニ乙隊戦備ニ

移行対上空海上警戒ヲ嚴シニ激襲態勢力

ヲ整テ 三日未襲撃ナシ 四日〇時一機

高度七千ニテ進入セルモ投弾スルコトナク脱去ス

3. 奄美大島地区 兩日共敵機未襲撃ナシ

4. 徳之島地区 兩日共敵機未襲撃ナシ

5. 高古島地区

三日二四八機三回〇三回三回の敵艦載機各四機
進入セシモ投弾スルナク脱去ス別ニ三〇〇機海上ニ
不時着シ搭乗者一名ヲ押獲又我方被害ナシ
四日一〇〇機載機一三機進入漁船ニ投弾監視
有リ艦雲セシモ被害ナシ

6. 石垣自島地区

三日敵艦載機二四七一機偵察一三四四機銃雲一三〇三三機
船舶攻撃ヲ実施ス所在即降ハ海軍部隊ト協力攻撃セシモ
戦果ナシ我ノ方損害ナシ
四日一二〇三敵大型機二機進入船浮港内ノ
船団ニ対シ機銃掃射ヲ加ヘ一二〇九脱去又

船団其ノ他被害ナシ

四敵機ノ機種装備及攻撃法

〇三日空襲セシ敵機ハF6Fレクラマシ艦載

機約五十機及B29レ一機ニシテ主トシテ

我カ飛行場ヲ主目標トセシモノ、如ク各飛

行場ニ対シ銃雲ヲ行ヒタリ又B29レハ何等

攻撃スルコトナク脱去セリ

其の攻撃は三機又ハ六機編隊毎ニ約一千
米附近ヨリ同時急降下ヲ行ヒ約五〇〇米
ノ近距離ヨリ銃撃ス

攻撃ノ際ハ殆ト太陽ヲ背ニシ防空砲火ハ
昭著ナラ困難ナラシメ離脱ニ方リテハ我カ防
空火器ノ少キ海正面ヲ選定ス

二四日ハ前日ト同シノケラマレ艦載機ニシテ

飛行場及船舶ヲ至目標トセシモノ如シ

敵機ハ小雨ノ利ニ陸海上空ニ概ネニ由ル

超低空ヲ以テ行動ス目標上空ニ至リ

始メテ高度ヲ取り編隊ノ急行下銃撃ヲ行ヒ

地上五〇米附近迄降下ス

小雨ト相俟ツテ低空行動等ニ依ル目標ノ選定

困難ナリシ爲カ我カ方殆ト被害ナシ然レ共

我カ高射部隊又射(視)界ノ制限ヲ受ケタリ
3) 兩日共爆彈 投下無ク 專ラ銃裏ヲ
行(リ)

五 敵潜水艦ノ状況

十二月中期以降沖繩本島以北海面ニ敵
潜水艦ノ出現極メテ活潑ニシテ 12月29日偵察
ト圖陣セシモノ如ク 十二月下旬本島近海ニ於

テ輸送船六隻沈没ス 然レ共三四日ノ空襲
ニ際シテハ敵潜水艦ノ活動ヲ認メズ

六 戦果 (附表 第七 参照)

1) 三日
襲墜三 襲破二 宮古島ニ於テ敵搭乗員
一名捕獲

2) 四日
襲隊三 (内不確実二) 那覇沖海上ニ搭乗員一名捕

七、射耗彈一附表第八ノ如シ

八、我カ方ノ損害附表第九ノ如シ

九、地方官民間係事項

敵艦載機近五十機ヲ以テ三四日共約三〇

分向三百リ主トシテ各地飛行場及那霸

港船舶等軍事施設ニ対スル攻撃ニシテ

地方官民ノ被害殆んど見ルベキモノナシ
被害状況附表第十二ノ如シ

二、治安状況

十月十日空襲、被害シ書メタル官民ハ十

二月下旬以降相踵ク敵偵察機、飛來

ト今又空襲ニ依リ一部ニ於テハ近ク敵機

ノ大空襲ト相俟ツテ敵上陸ノ流言蜚語

アリテ民心ハ極度ニ不安動搖シ 衣類

家具炊事具等ヲ携行シ避難スル者等

アリタル

毛器側ト密ニ連絡シ保

安ノ万全ヲ期シアリテ安上憂慮スベキ

事象ナシ

軍ノ迅速ナル戦果を表ハ人ニ安定ニ大ナ

ル如影如白日ニ鑑ハタリ

十戦訓

一 今次来襲敵機ハ第三十八機動部隊所

屬「下」下「ク」ラマシテ戰鬥機ニシテ攻襲法

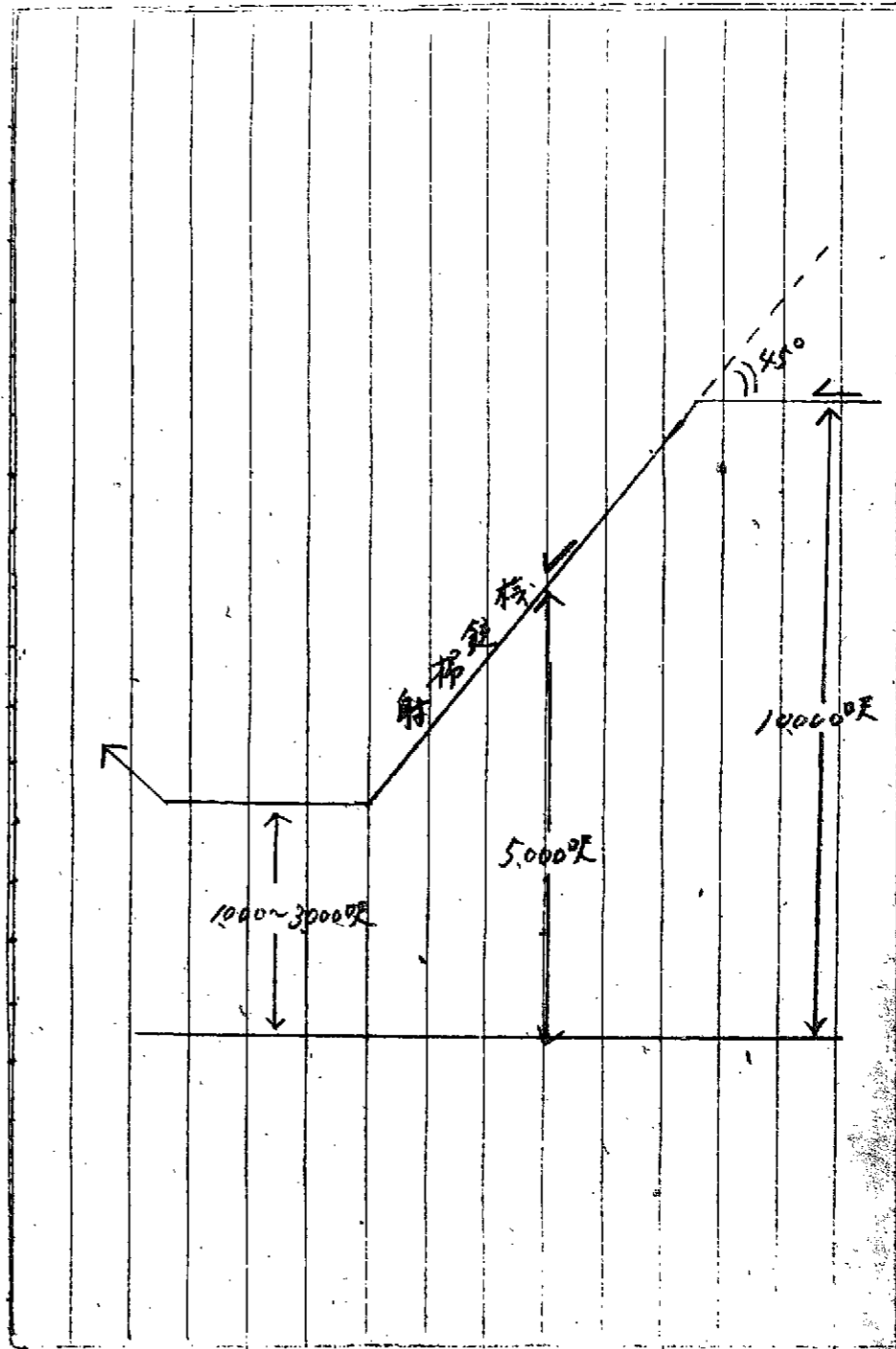
ハ三乃至六機ト同時急降下銃雲ヲ發

施ス其訓練技術共ニ拙劣ニシテ敵

搭乗員ノ素質ノ低下ヲ暴露スルモノアリ

其ノ戦法(急降下法)左ノ如シ

2. B⁷29^レヲ以テ攻雲機^群ハ誘道寸ニ任ジアリタル
 モノニアリヌヤト思惟セラルト莫アリ
 即チ本空龍表ニ在リテハ敵艦載機未龍襲
 約三十分前「B⁷29^レ」目標地且上空高々
 度ヲ旋回シアリテ投彈スルコトナリ艦
 載機進入後飛去ス



3 偽騎物ノ必要否

北飛行場ニ於テハ空襲夜当日偽飛行機ニ偽裝夜

完備シ屬シ配置替シ實施シ亦在機ハ飛行場

周辺(大敵中敵)事故機ト混合配置セル等偽裝遮蔽

ニ努メタル結果地上飛行機ノ被害皆無ナリ

故ニ偽飛行機兼連増強機事故機ノ利用價

値極メテ大ナリ

又在戦ハ徹底的ニ燃料ヲ抜キ退クヲ要ス。
 当日^日氣象^部ハ「キ」一機敵ノ銃雲ニ依リ被
 弾セルモ燃料ヲ抜キ退キタル爲メ火上ヲ免レタリ
 又ハ^下機撃留中ハ必ス油抜キハ習性シ肝要トス
 5 耐弾抗力^有スル通信所ハ必要極
 耐弾抗力^有スル通信所無キ爲メ空襲時ニ通信施設
 同窓等ニ傍助^已ム無キニ至レハ通信量著シク増加
 スルニ拘^ル知塔機連絡^シハ^ハ絶^ルニ至ル事亦^ハ^ハ^ハ^ハ^ハ^ハ^ハ

附表目次

- 附表第一 十二月下旬以降南西諸島敵機
来襲状況一覽表
- 附表第二 敵機来襲時刻及機數一覽表
- 附表第三 敵艦載機来襲航跡圖
- 附表第四 戰果一覽表
- 附表第五 射耗彈數表
- 附表第六 人馬死傷表
- 附表第七 航空機被害一覽表
- 附表第八 船舶損害一覽表
- 附表第九 地方側人員死傷一覽表
- 附表第十
- 附表第十一
- 附表第十二

附表第二

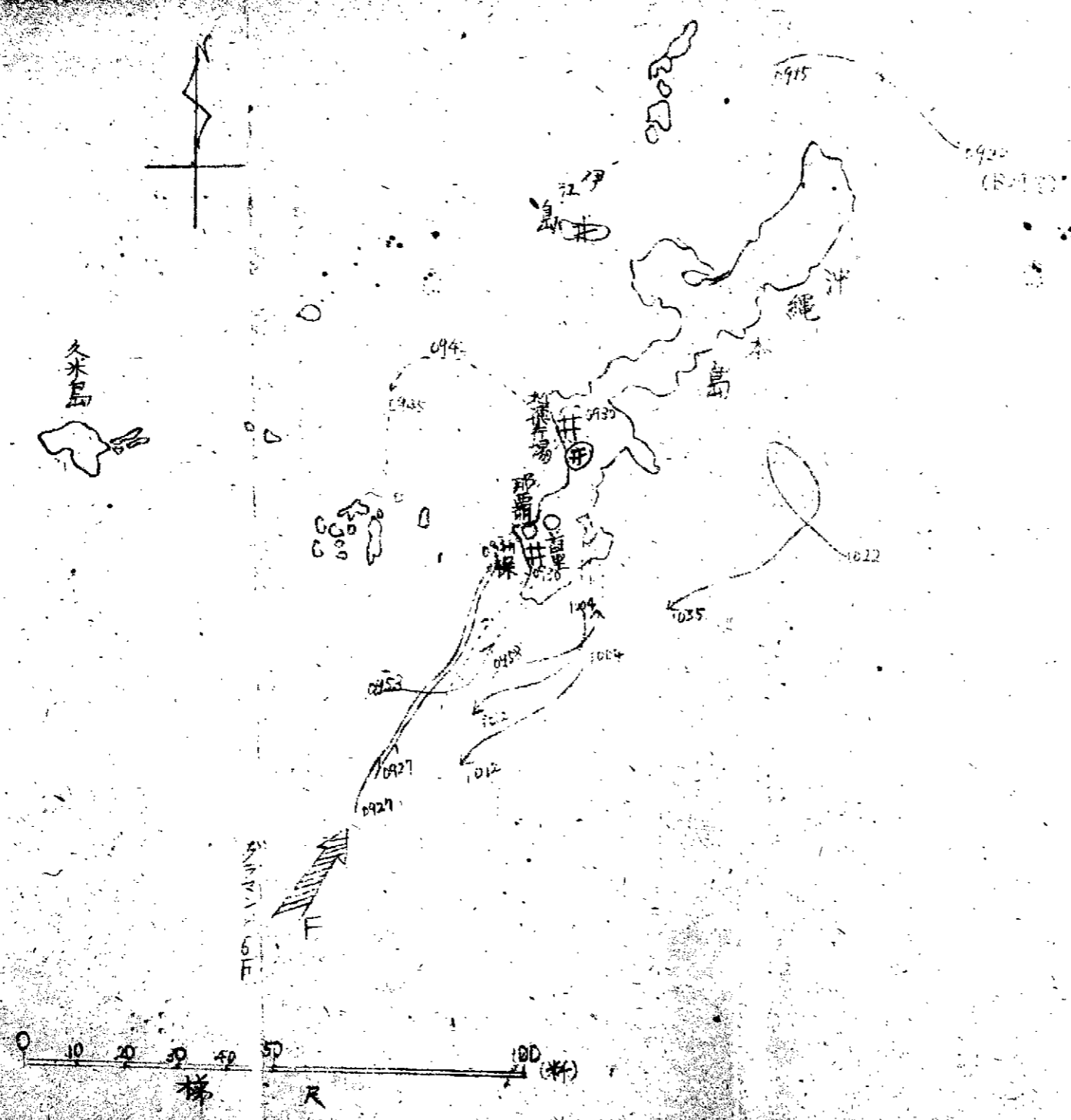
敵機未襲時刻及機數一覽表

備考	西日總計	4/1							3/1							時刻	地区					
		合計	一〇〇三	一〇〇五	一〇一三	一〇一〇	一〇五五	〇七五〇	合計	一三三〇	一三四〇	一三五三	一四一〇	一四一四	一四一〇		一〇〇〇	〇九五五	〇九三五	別	沖繩	本島
本表、外一月三日〇八日〇一〇日〇一〇日〇二九日二枚沖繩本島上空二機飛来セリ	29	12					12	17								5	12	北原	沖	本		
	12	6				6	6								6			中葉	繩	本		
	27	9				9	18							15		3		小津	本	島		
	3	3			3													那覇港	島			
	21	30			3	15	12	41							15	6	8		計			
	1	1					1												大東島			
																			奄美大島			
	30	15	2	13				15	4	4	2	1	4						宮古島			
	102	46	2	13	3	15	12	56	4	4	2	1	4	15	6	8	12		合計			

附表第五

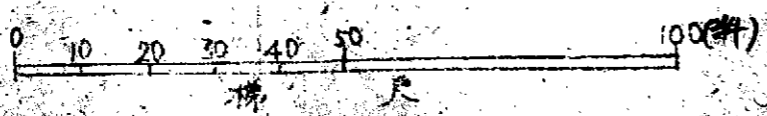
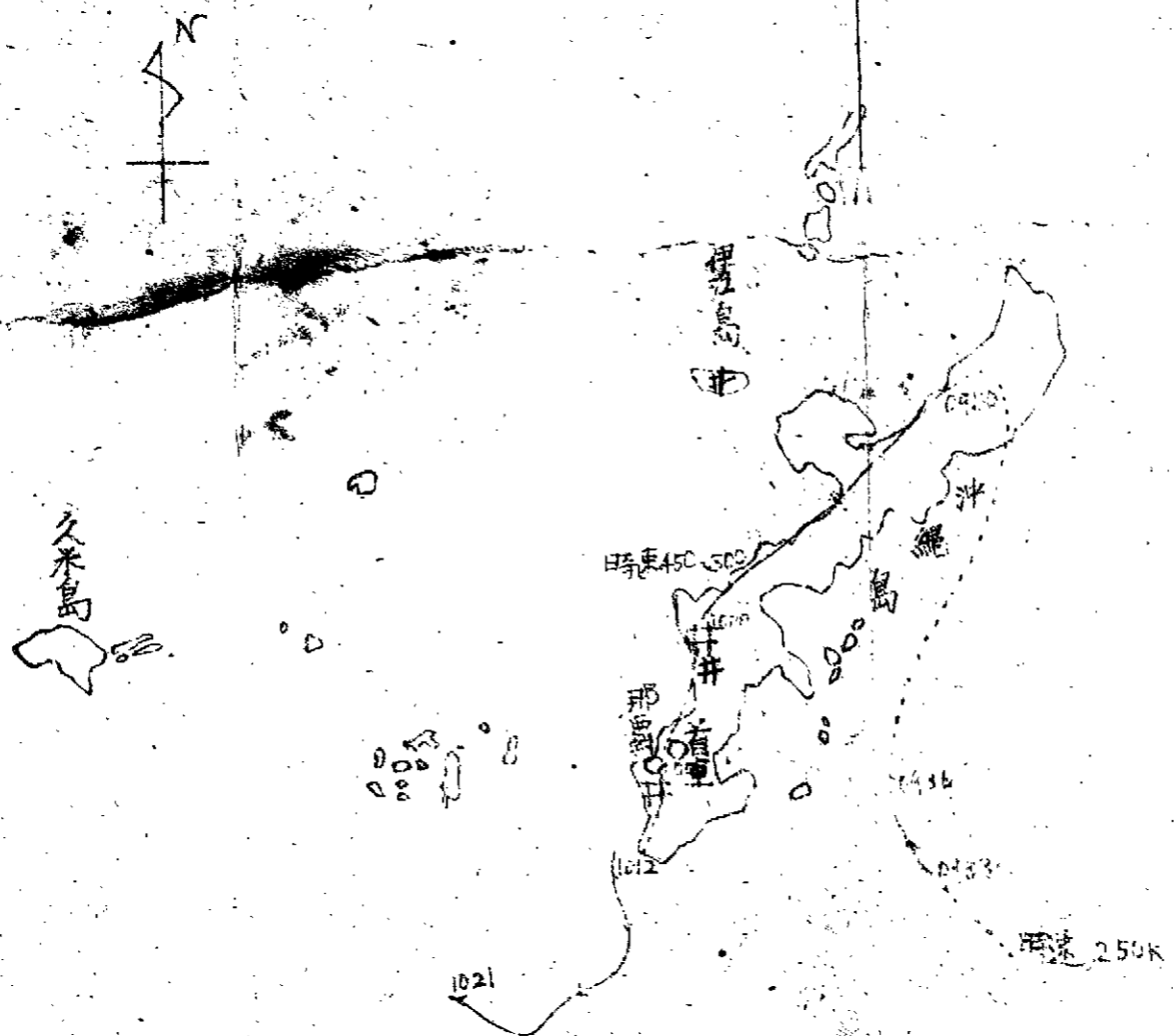
片三

一月三日改艦裁板手裝航跡圖
 十月二十日敵艦未業外況



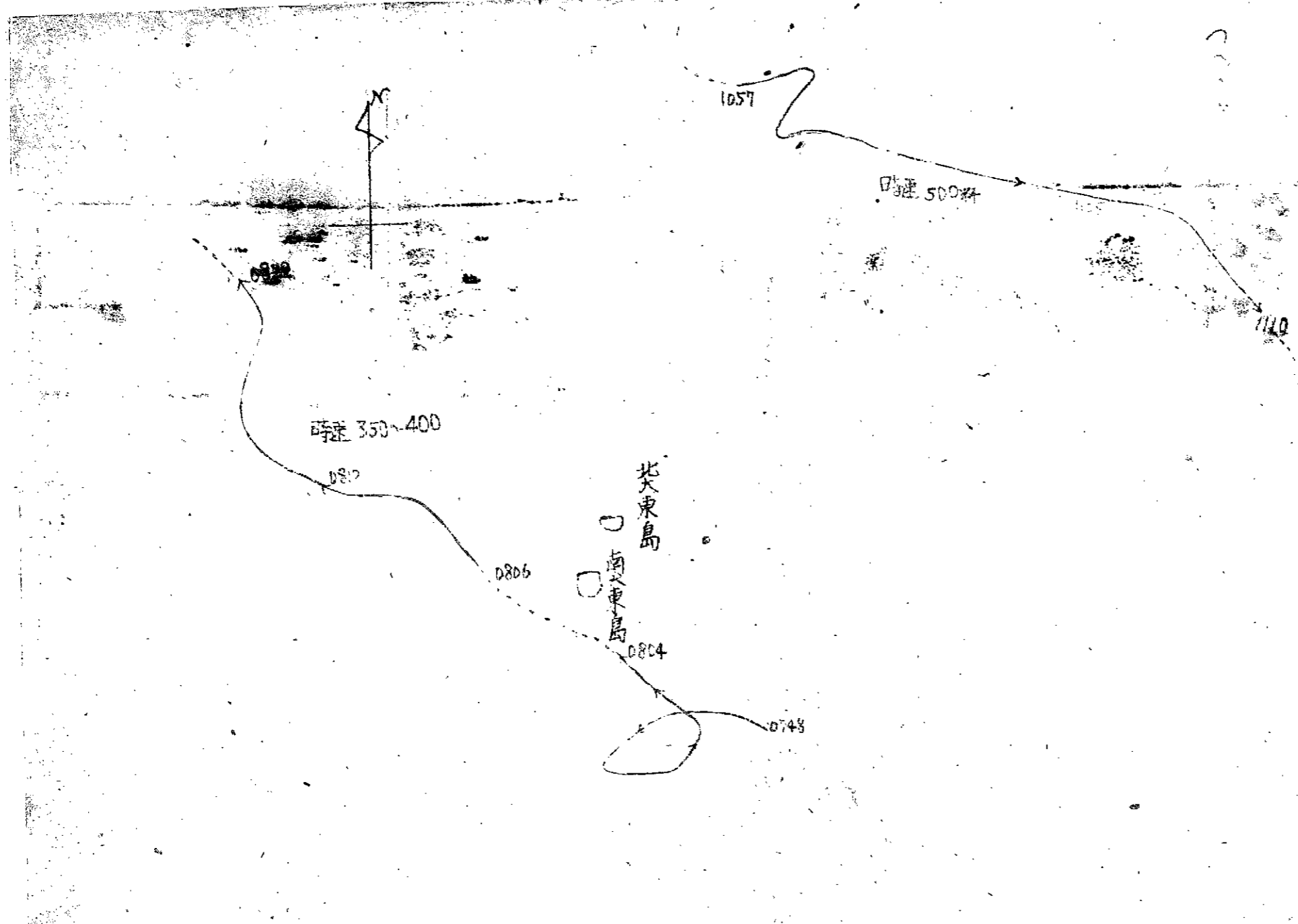
附表第四

一月四日 亞細亞航線 未發航跡圖



附表第五

一月四日敵艦載機飛航跡圖

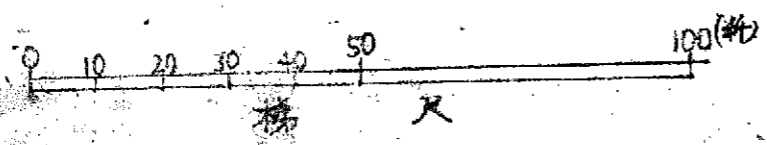
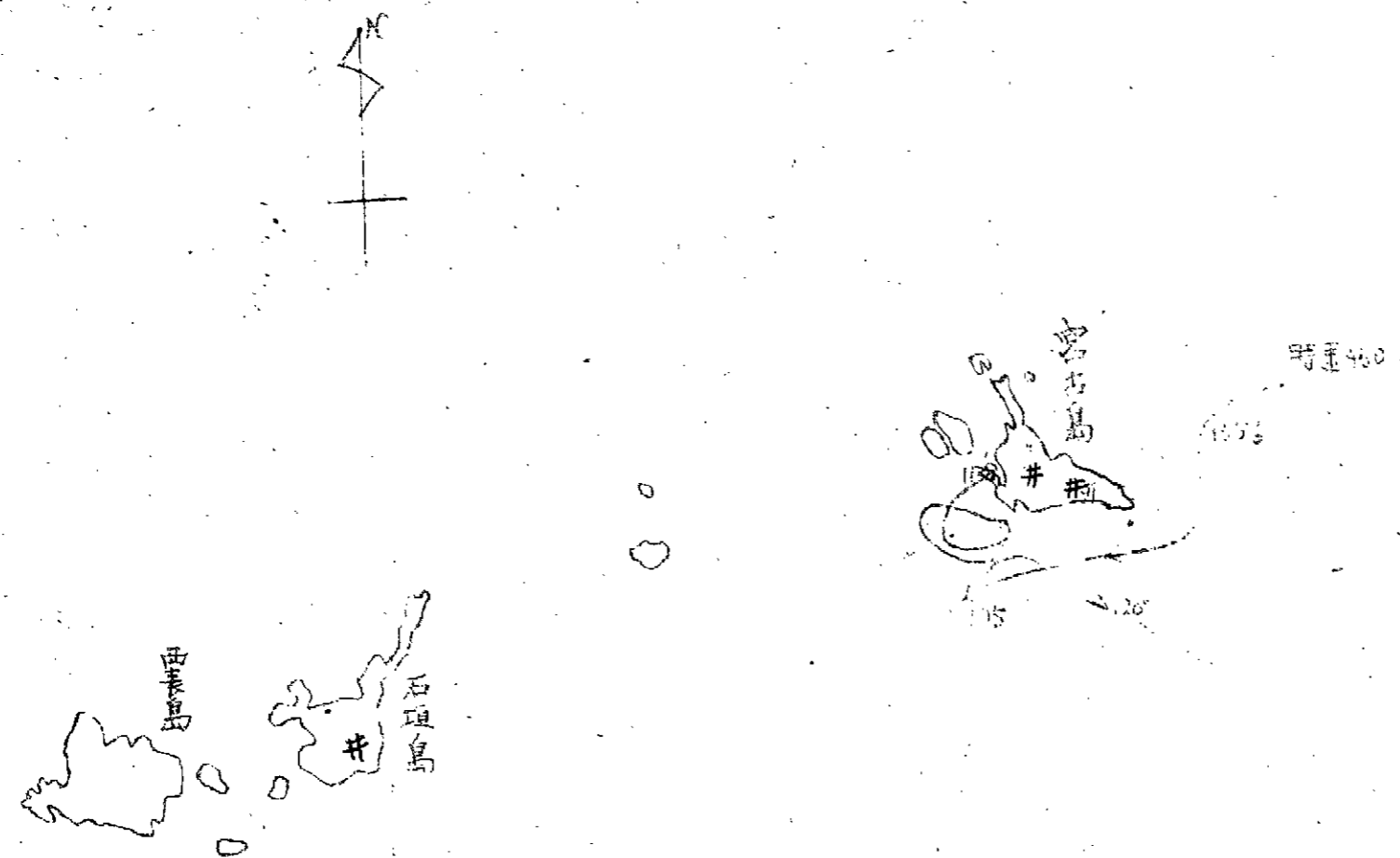


0 10 20 30 40 50 100 (尺)

梯 尺

附表第六

一月四日歐亞航線未發航跡圖



三四月空襲人馬死傷表

部	隊	已	別	合	戰		傷		死	馬	傷
					將校	兵	將校	兵			
第十九航空地空司令部						(一)	(一)				人夫負傷 (三)
第...飛行場大隊						(一)	(一)				人夫負傷 (一)
步兵第三十二聯隊											
步兵第三十三聯隊											
野砲兵第一聯隊											
輕臼第二大隊											
第十一船塢團											
曉神繩支那						(四)	(四)				
步兵第七聯隊						(一)	(一)				
合						(一)	(一)				
計						(八)	(八)				人夫負傷 (七)

備考
 三四月空襲人馬死傷表
 於...放機ノ機銃掃射ヲ
 死傷ノ大即ハ海上ニ於テ

附表第十

三田日南由諸島空襲被害航空関係被害調査表

日次	部隊名	品目	損害区分			備考
			全焼	半焼	小破	
4	小幡飛行場	機銃油	三	二		四日損害ナシ
3	北飛場	飛行機			一	機銃油等被害あり
		カリン玉	一			機銃油等被害あり
		大破				
		中破				
		小破				
		計	三	二	一	

附表第十一

船舶損害一覽表

備考	冒球五七六部隊	日次	
		部隊名	損
液核ノ機銃掃射ニ依ルモノトス	連絡艇	品目	破大
			破中
			破小
			計
			備考
	修理可能		

